



▲左から、なゆた庵の湯澤店主、鵜選手、米山そば振興会長

新・鹿沼宿に「なゆた庵」オープン —セレモニーに宇都宮ブレックス ^{いかるが} 選手登場—

8月31日、まちの駅 新・鹿沼宿において「鹿沼そば なゆた庵」の开店セレモニーが行われました。当日は鹿沼そば大使であるプロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」のキャプテン#18 ^{いかるが} 鵜 誠司 選手にサプライズでお越しいただき、会場を盛り上げていただきました。

セレモニー終了後は、なゆた庵のそばが振る舞われ、香り豊かなそばを堪能していました。

国への要望活動を実施

—安全安心で持続可能な都市基盤の充実に向けて—

8月18日、松井市長と谷中議長は国土交通省を訪れ、要望活動を行いました。当日は、五十嵐清衆議院議員にも同席いただき、上田英俊国土交通大臣政務官をはじめ、関係幹部職員とも面談を行い、通学路整備や下水道施設の老朽化対策、市内で県が実施している国県道や河川の整備などについて共通認識を深めました。



災害時における協力体制の拡充

—上都賀農業協同組合と協定を締結—

9月1日、上都賀農業協同組合と「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました。これは、平成28年度に締結した災害協定を改めたもので、従来の物資提供に加え、南部営農経済センターの一時避難所や物資輸送拠点としての利用、市所有の防災資機材・物資等の保管、避難所等への物資配送、人員・車両等の提供など協力内容を拡充しました。これにより、災害時等の市民生活の早期安定に寄与されることが期待されます。

Bリーグチャンピオンに貢献

—本市出身の山口颯斗選手に市特別賞—

バスケットボールBリーグの2025-26チャンピオンの長崎ヴェルカで優勝に貢献したとして、本市出身の山口颯斗選手に市特別賞を贈呈しました。式の当日、山口選手はオンラインでの出席となりましたが、会場には家族のほか、友人も集まりにぎやかな贈呈式となりました。

今季から神戸ストークスへ移籍した山口選手。市ではこれからも山口選手を応援していきます。



幅広い世代へ体を動かす楽しさを

—森山雅斗さんにかめまふるさと大使を委嘱—



9月12日、本市出身で、全国ラジオ体操連盟の指導員として、テレビ出演などでも活躍されている森山さんに、かぬまふるさと大使を委嘱しました。

森山さんは「幅広い世代へ体を動かす楽しさを伝えていくことで、活気あふれる地元鹿沼の健康づくりに貢献し、鹿沼の魅力を広くPRしていきたい」と語ってくれました。

9月14日には、森山さんがにっこり保育園とこじか保育園を訪問し、子どもたちは一緒にラジオ体操をして楽しく体を動かしました。



本番さながらの訓練

—緊急銃猟プレトレーニングを実施しました—

9月26日、市・鹿沼警察署・猟友会鹿沼支部が連携し、市環境クリーンセンターにクマが出没したことを想定した緊急銃猟の訓練を行いました。当日は、市役所に設置された対策本部と、環境クリーンセンター、クマ出沒地点をオンラインで繋ぎ情報を共有しながら、市街地にクマが出没した場合の初期対応から緊急銃猟による発砲までの手順を確認しました。今後も訓練を重ね、クマが出没した際の速やかな対応に繋げていきます。



熊本地震応援職員の活動報告

—熊本市で住家被害認定調査を行いました—

7月28日に発生した「令和8年熊本地震」の被災地を支援するため、8月16日から23日までの8日間、本市職員3人を派遣しました。

派遣された職員は、被害の大きかった熊本市内において、連日の猛暑の中、熊本市の職員とともに被災住宅の被害認定調査に従事しました。

派遣された職員は、「今回の派遣は、災害時の業務を経験できただけでなく、災害時に職員は何を求められるのかを考える貴重な機会となりました」と話しました。



サッカー場の整備に役立てて

—栃木県サッカー協会から寄附をいただきました—

9月28日、公益社団法人 栃木県サッカー協会から、現在、人工芝等の改修工事を行っているサンエコ自然の森サッカー場に関連して300万円の寄附を受けました。この寄附金は、県サッカー協会がクラウドファンディングを実施して、サッカーファンの方々から集まった支援によるものです。

いただいた寄附金は、サッカー場のゴールやベンチ等の購入等に使い、来春頃にリニューアルオープン予定です。

